

# 2008年度(2009年3月期)決算説明会

2009年5月11日

曙ブレーキ工業株式会社

# 経営の状況

- 連結ベースで初の営業赤字、6期ぶりの最終赤字

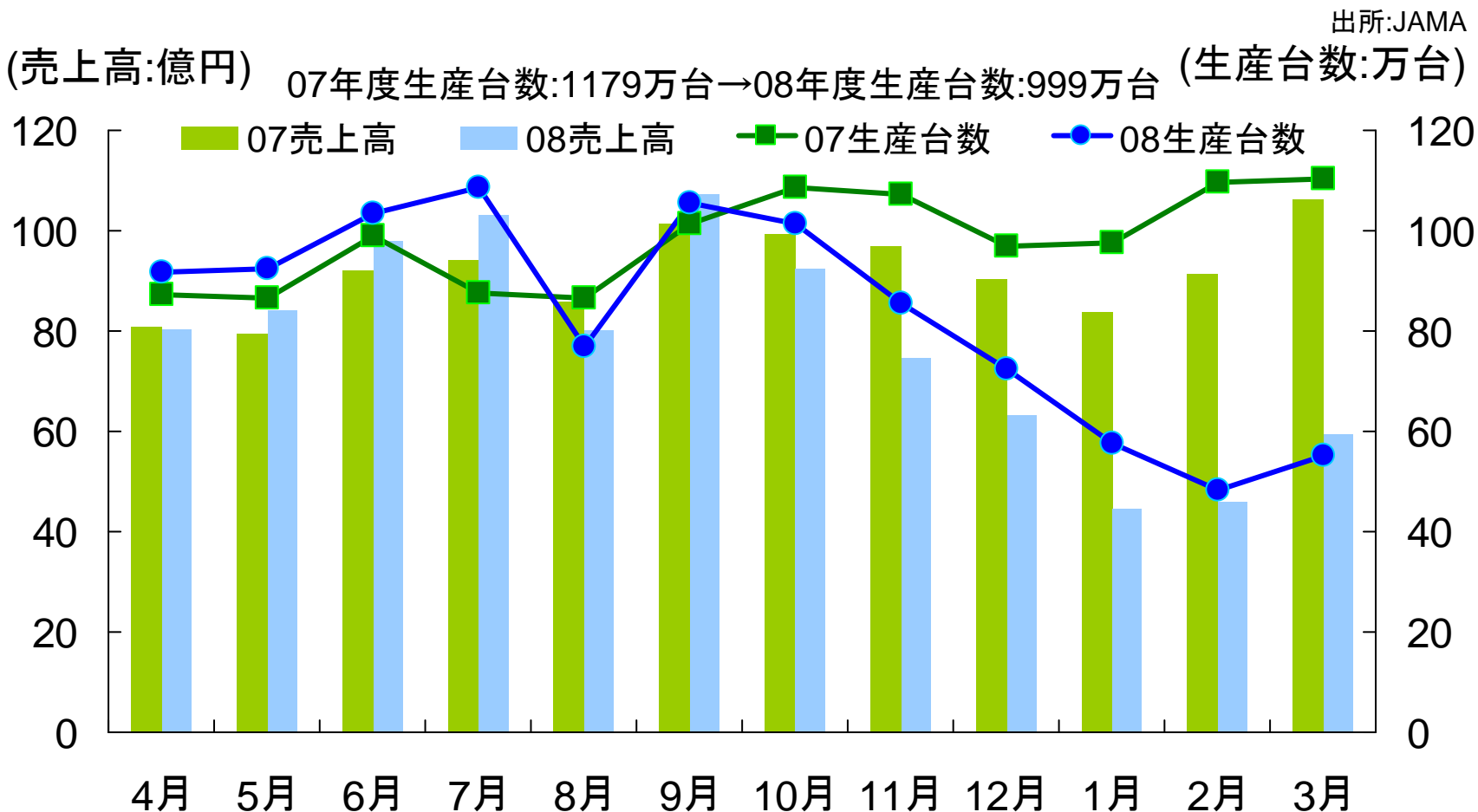
- 自動車生産台数の大幅な減少
  - 下半期から急減。
- 資材の大幅高騰
  - 1Q~3Q
- 一時的な費用の発生
  - 鋳物工場立上げ費用(16億円)増加
  - コスト構造改革に向けた処理
    - 生産規模に合わせた固定資産減損
    - 東北地区再編コスト
      - 三春:09年12月
      - いわき:09年9月
    - 米国Springfield plantの閉鎖
    - 人員適正化

(単位:億円)	FY08実績
売上高	1,596
営業利益	△63
経常利益	△79
特別損益	△124
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 固定資産売却益</li> </ul>	(+33)
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 退職給付制度終了益</li> </ul>	(+9)
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 投資有価証券評価損</li> </ul>	(△19)
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 減損損失</li> </ul>	(△95)
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事業構造改善引当繰入額</li> </ul>	(△33)
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事業構造損失等</li> </ul>	(△17)
<ul style="list-style-type: none"> <li>• その他</li> </ul>	(△2)
当期純利益	△163



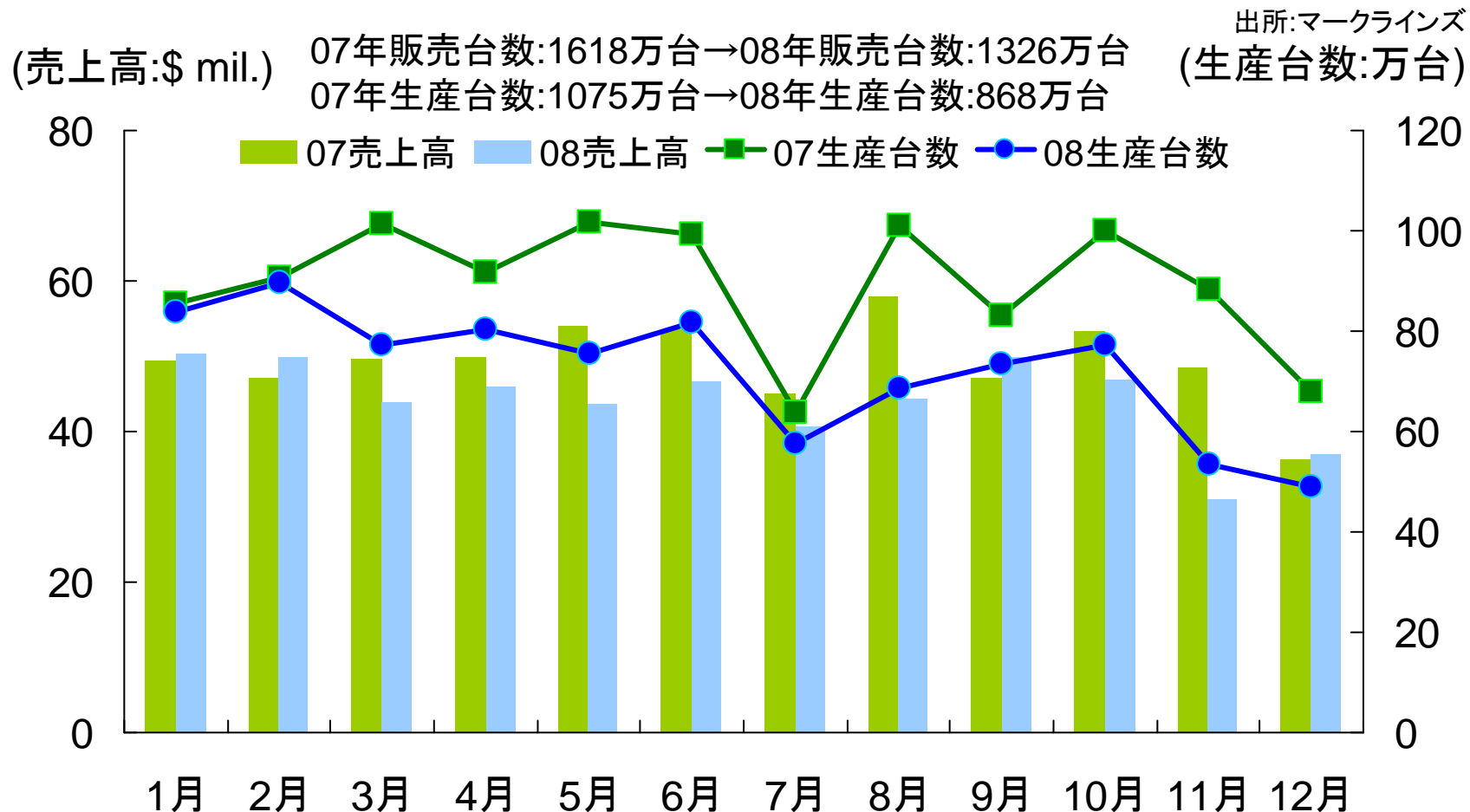
# 月次推移(日本)

- 国内売上高月次推移と国内自動車生産台数



# 月次推移(北米)

## 北米事業月次売上高と米国自動車生産台数



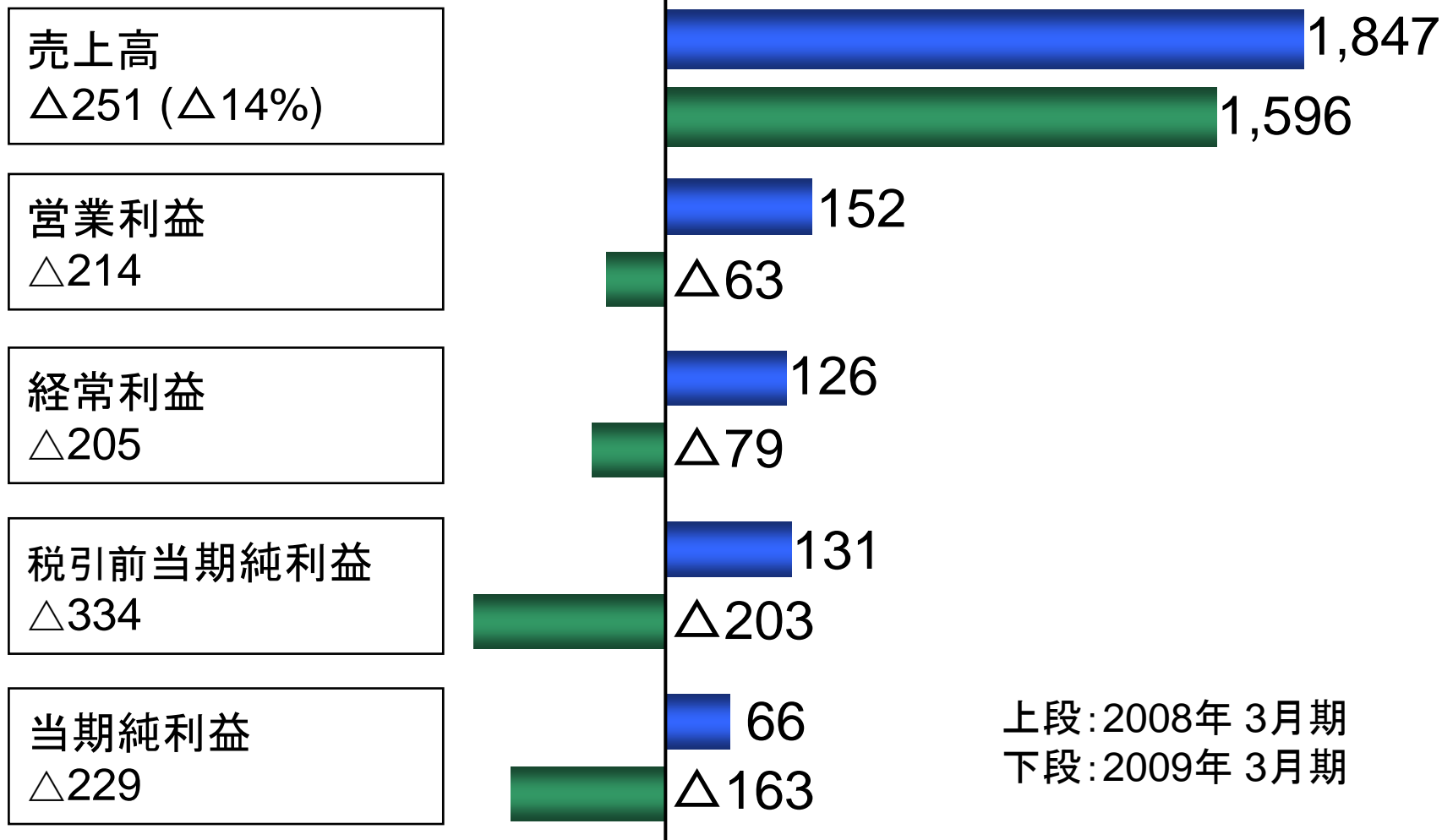
---

# 2008年度(2009年3月期)業績説明

# FY08業績

対前年差

(単位:億円)



上段:2008年3月期  
下段:2009年3月期

# FY08所在地別の状況

(単位:億円)

	売上高			為替 換算 影響	営業利益			為替 換算 影響
	FY07	FY08	差		FY07	FY08	差	
日本	1,117	944	△ 173		98	△ 51	△ 149	
北米	700	547	△ 153	△ 79	41	△ 24	△ 65	+ 3
欧州	63	57	△ 6	△ 8	2	1	△ 1	△ 0
タイ		24	+ 24	△ 4		△ 1	△ 1	+ 0
中国	6	19	+ 13	△ 1	△ 3	△ 2	+ 1	+ 0
インドネシア	102	108	+ 6	△ 22	12	12	+ 0	△ 2
消去	△ 141	△ 103	+ 38		2	2	+ 0	
Total	1,847	1,596	△ 251	△ 114	152	△ 63	△ 214	+ 1

現地通貨ベース	FY07	FY08	差	FY07	FY08	差
北米: \$ mil.	595	531	△ 64	35	△ 23	△ 58
欧州: Euro mil.	39	40	+ 1	1	1	△ 1
タイ: THB mil.	0	770	+ 770	0	△ 32	△ 32
中国: RMB mil.	39	128	+ 89	△ 19	△ 11	+ 8
ネシア: IDR bil.	791	1,009	+ 219	93	112	+ 19

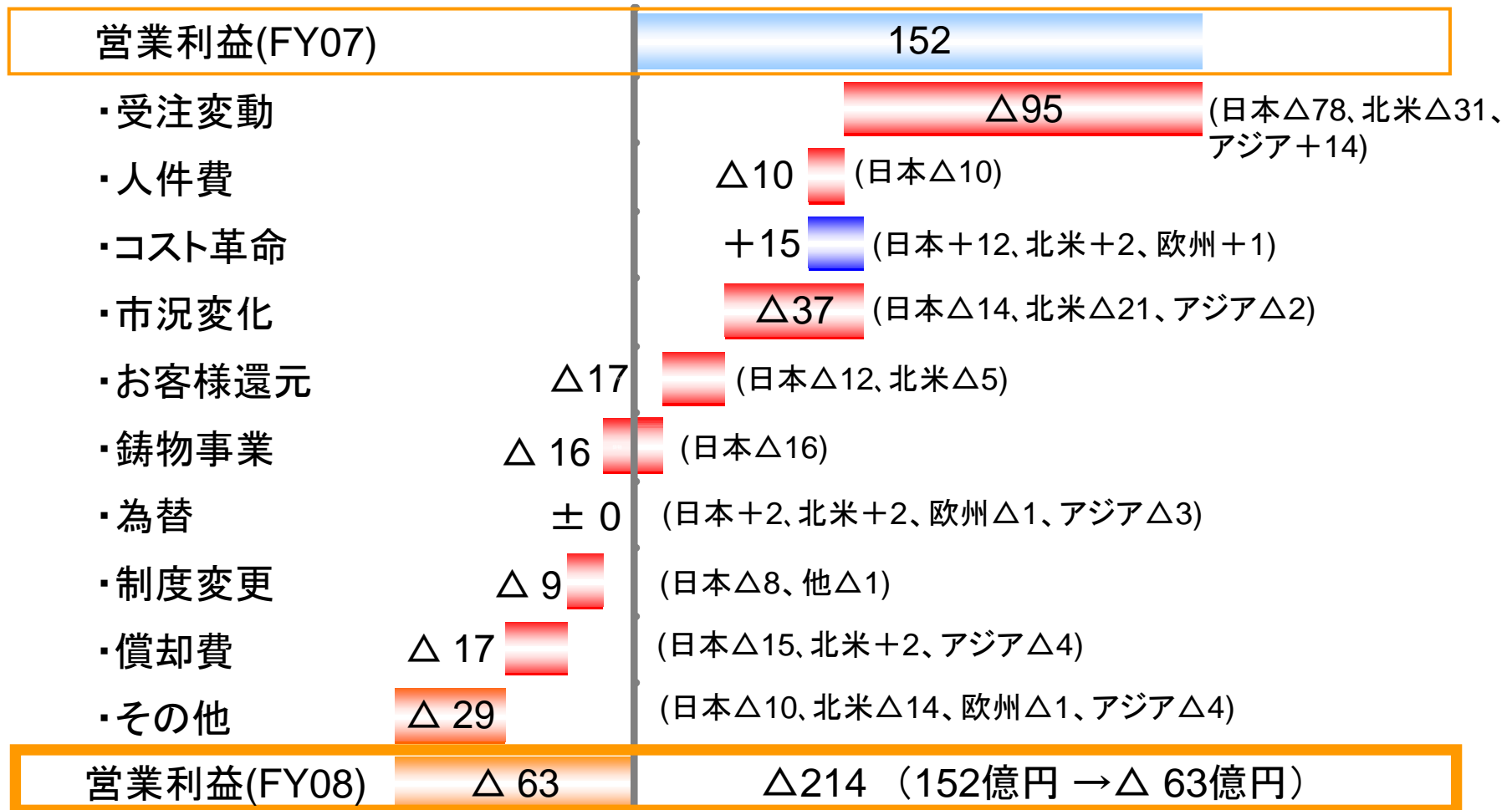
<為替レート>

	FY07	FY08		FY07	FY08		
\$	117.7	102.8	-13%	THB	3.7	3.1	-16%
Euro	162.3	143.3	-12%	RMB	15.5	14.8	-4%
				IDR	0.0129	0.0107	-17%

# FY08営業利益増減益分析(対前年差)

◆ 営業利益:  $\Delta 63$  億円(対前年差  $\Delta 214$  億円)

単位: 億円

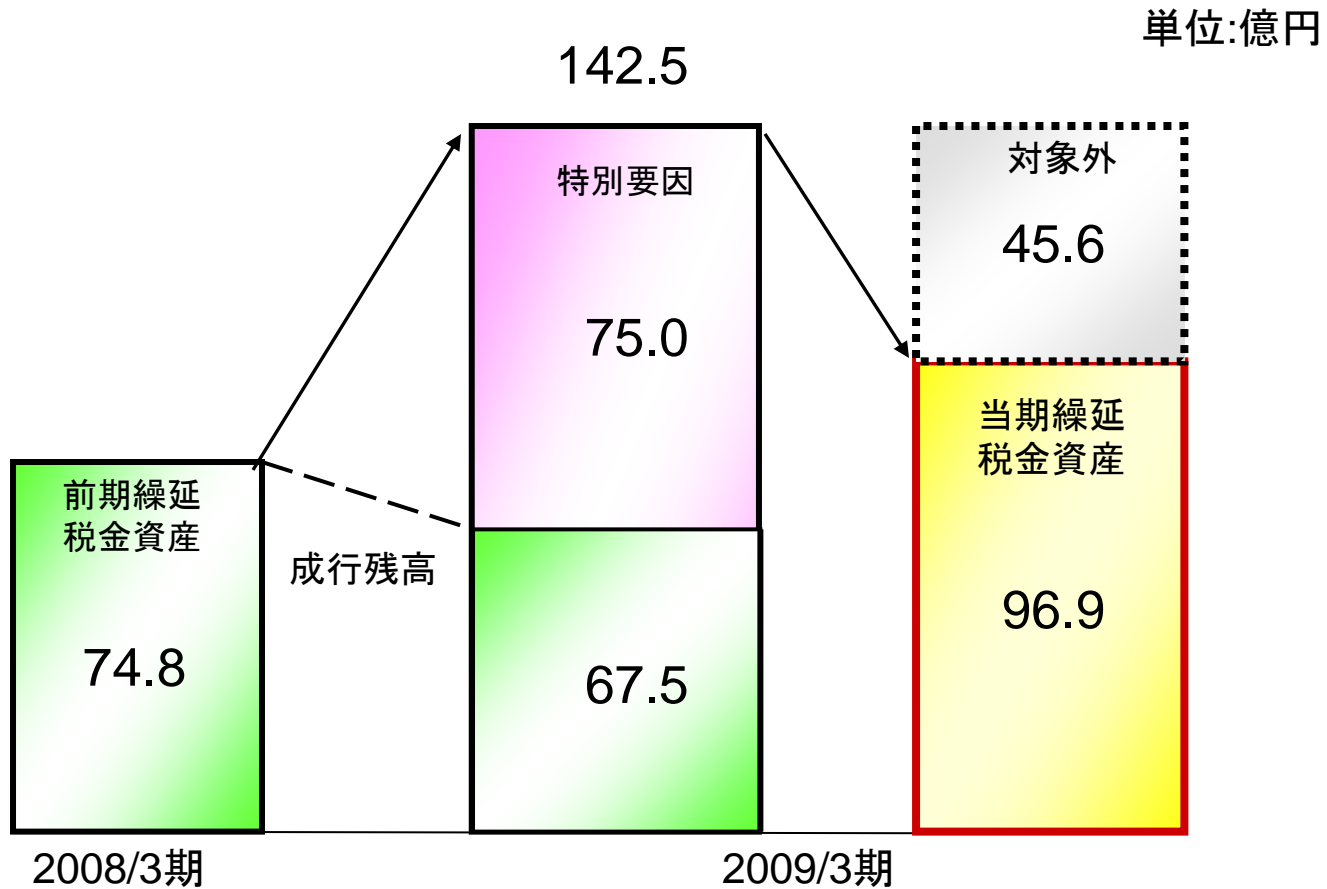


# FY08営業利益から当期純利益まで

FY07(前期)		FY08(当期)		単位:億円	
		主な勘定		主な勘定	
営業利益	152	営業利益	△63		
営業外収支△26		営業外収支△16		支払利息	△13
				製品補償費	△2
				開業費償却	△4
				その他	△1
経常利益	126	経常利益	△79		
特別損益 +5		特別損益 △124		固定資産売却益	+33
				退職給付制度終了益	+9
				減損損失	△95
				投資有価証券評価損	△19
				事業構造改善引当繰入	△33
				事業構造損失等	△17
				その他	△2
退職給付信託設定益	+8				
役員退職慰労	△2				
税前提利益	131	税前提利益	△203		
				法人税等	+33
				少数株主利益	+7
法人税等	△53				
少数株主利益	△11				
当期純利益	66	当期純利益	△163		

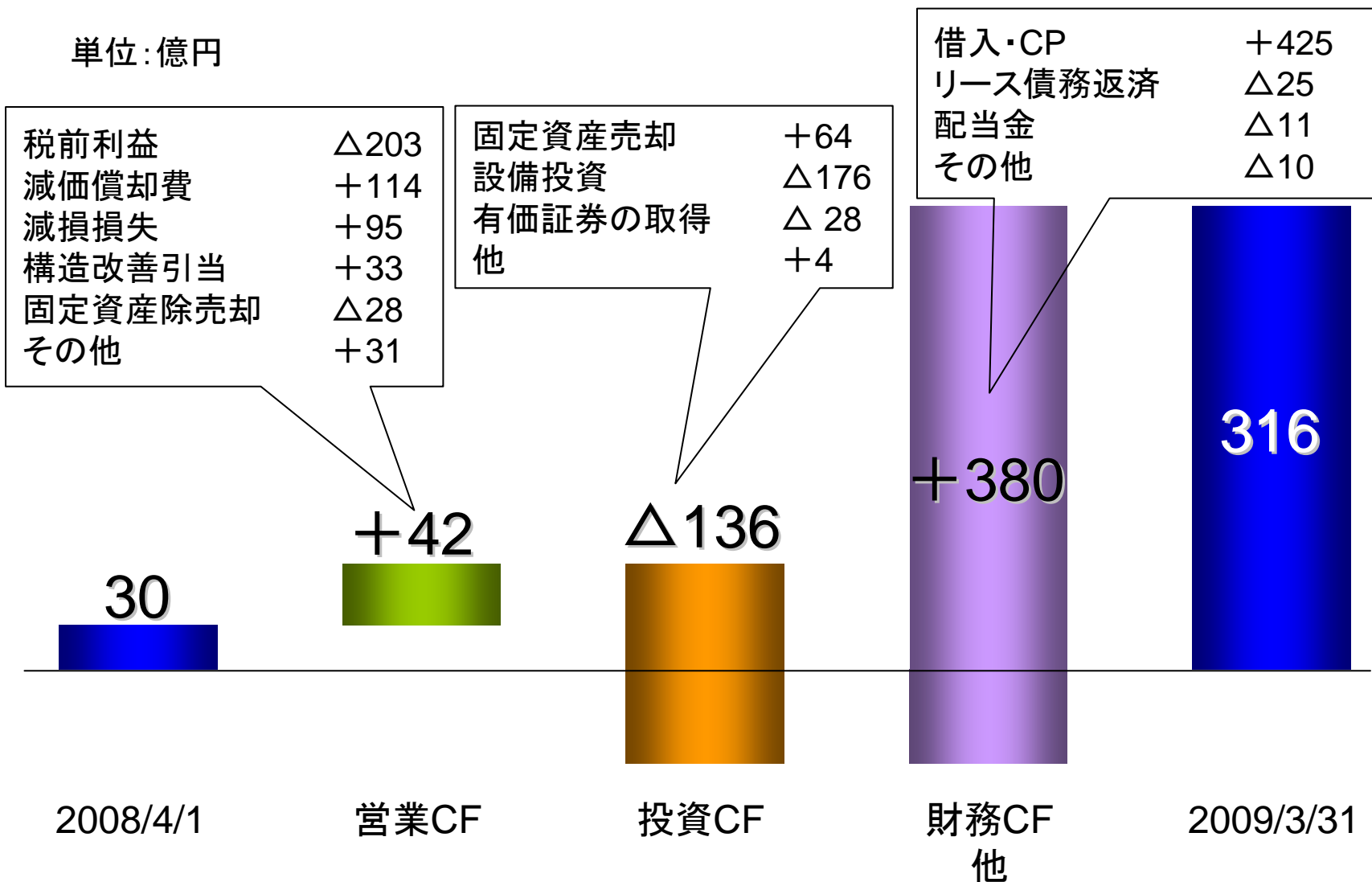
# FY08繰延税金資産残高の推移

- 回収可能期間を3年として、評価性引当金についての繰延税金資産の評価を見直し



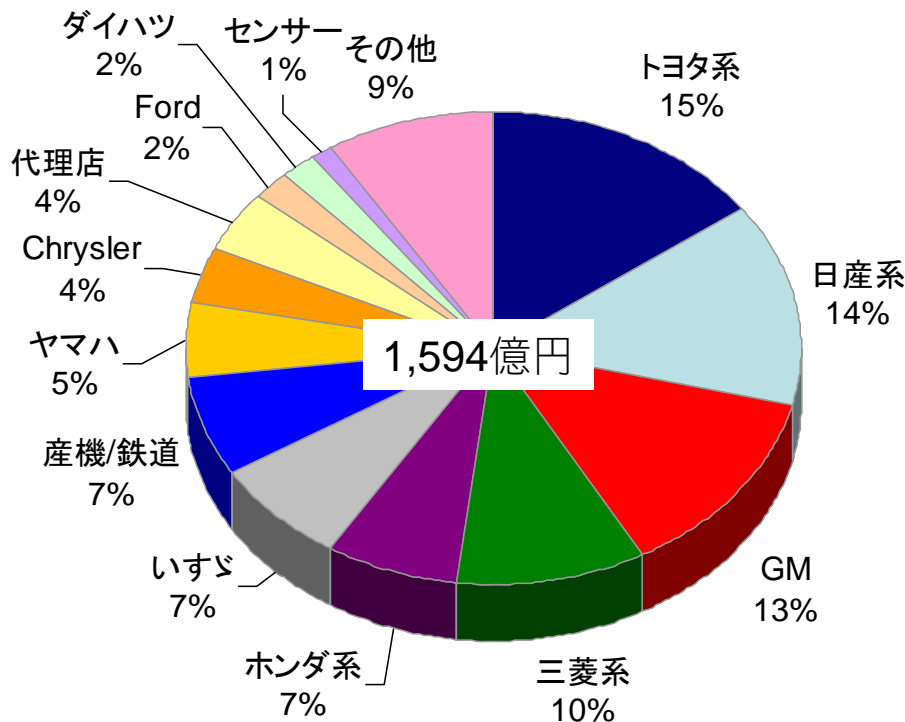
# FY08キャッシュ・フロー

単位: 億円

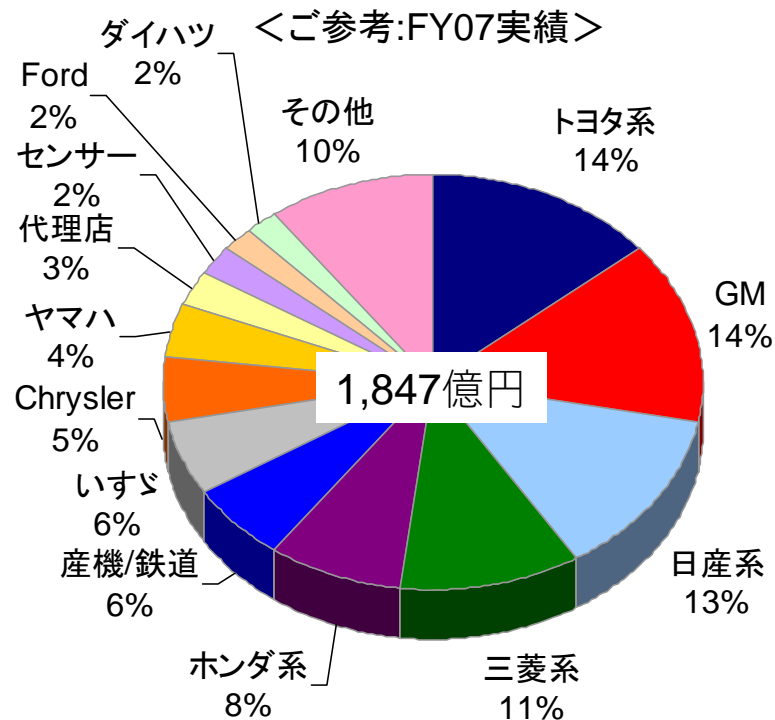


# FY08客先別売上実績

<FY08実績>



<ご参考:FY07実績>



	FY07実績	FY08実績	FY09計画
GM	14%	13%	9%
Ford	2%	2%	3%
Chrysler	5%	4%	2%
3社合計	21%	19%	14%

---

# 2009年度(2010年3月期)通期計画説明

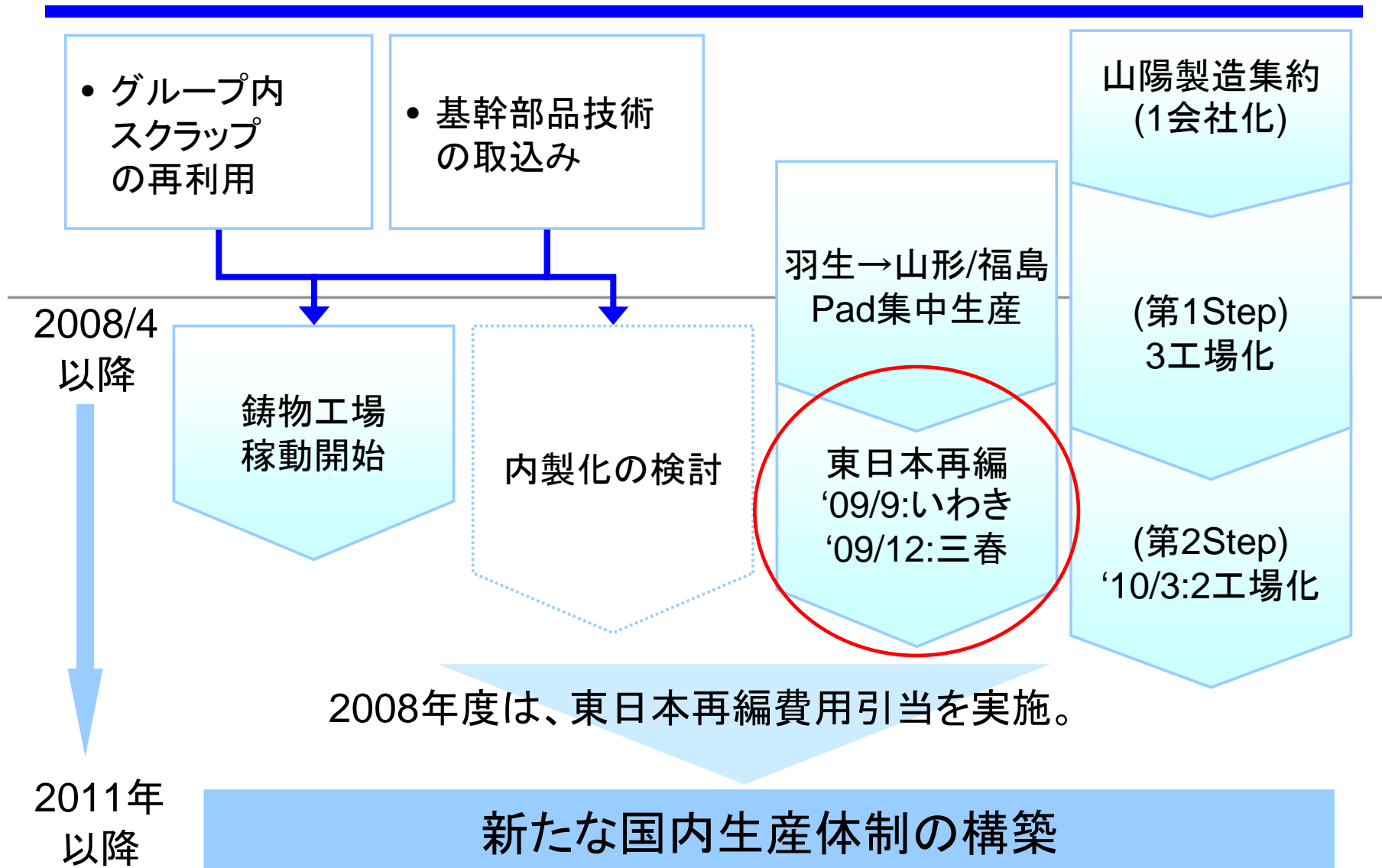
# 業績の早期回復に向けた施策

## ■ FY09の黒字化を目指す

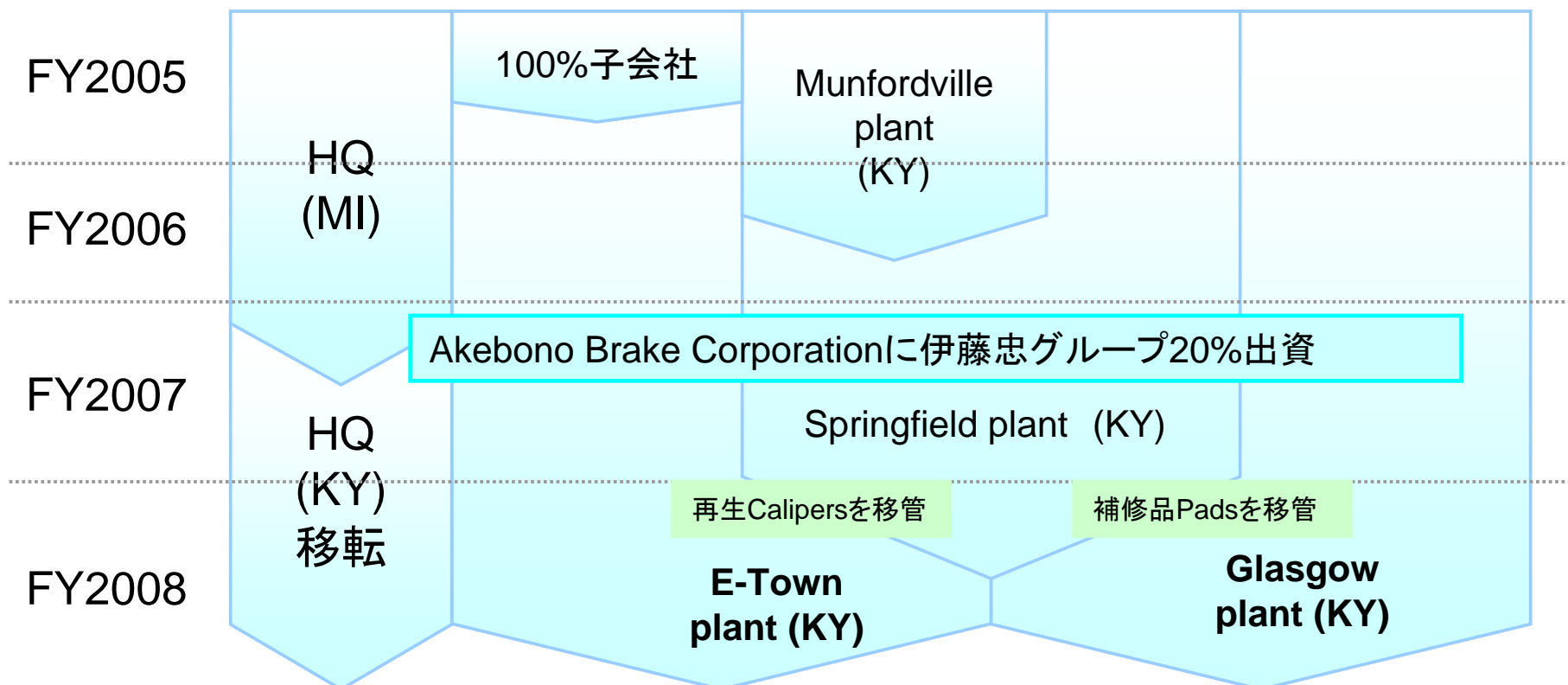
1. 日本:生産拠点再編の早期完了
  - いわき:'09/9、三春:'09/12までに再編予定
  - 山陽製造(株):'10/3までに2工場化予定
2. 徹底した固定費・経費の見直し及び大幅削減
  - 本社のスリム化および製造拠点統廃合による間接コスト削減
  - イベント・業務委託等の徹底的な見直し
3. 大幅な減産に即応した日米での人員適正化
  - 日本:本社間接部門を対象にした希望退職募集の実施等
  - 北米:既に実施した人員適正化(レイオフを含む)を踏まえた最適人員配置
4. 開発工程見直しによる効率化
  - 開発から生産開始までのプロセス見直し、ムダの排除による効率向上
5. 次世代生産設備の開発加速
  - 環境対応および労働生産性の飛躍的向上を目指した生産設備開発を加速
6. 設備投資の絞込み、遊休資産の有効活用

売上高1200～1250億円レベルで利益を計上できるスリムな体制の構築

# 国内事業再編スピードアップ



# 北米事業再編

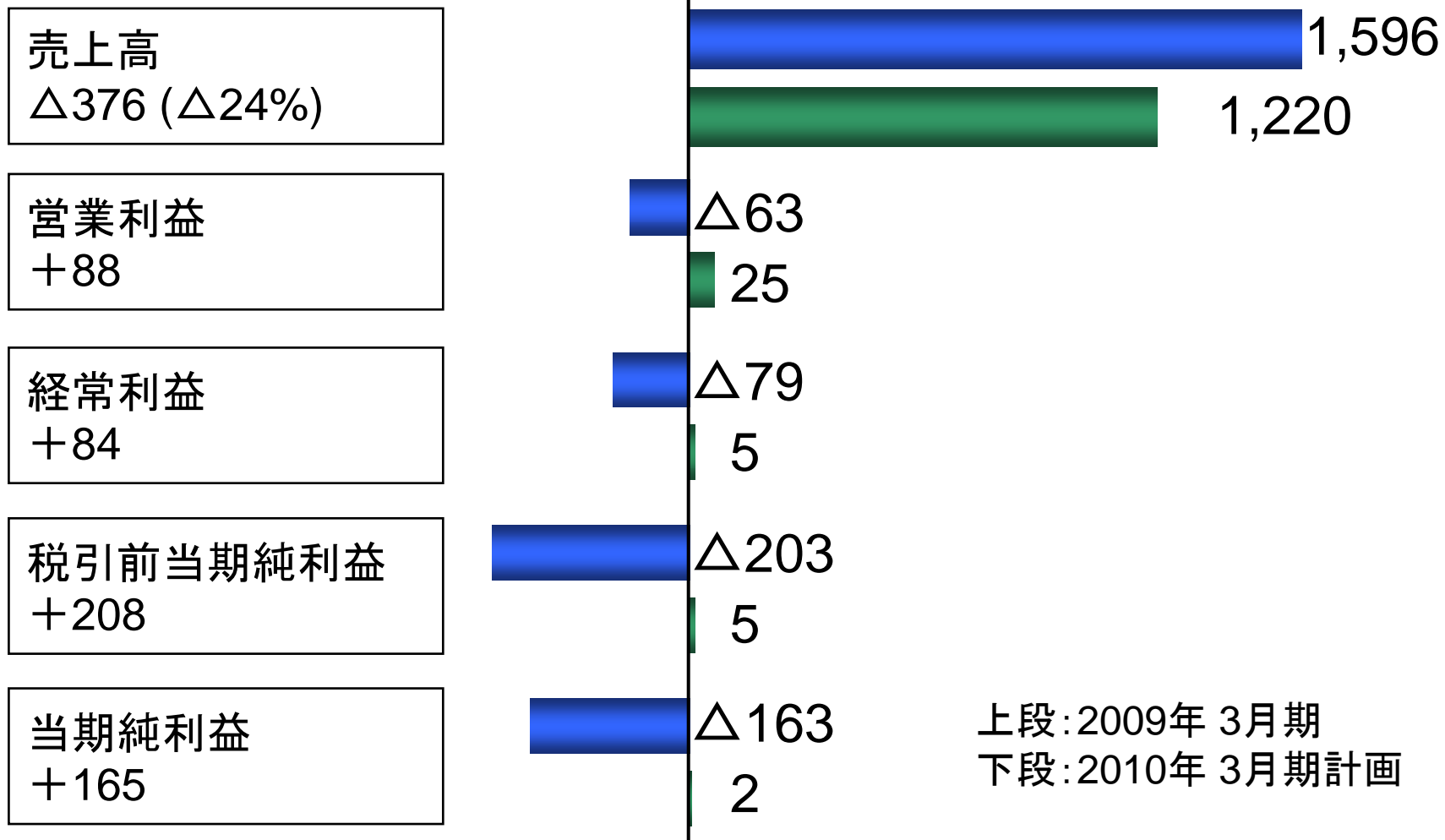


Springfield閉鎖コスト : 約12億円を特別損失に計上  
北米固定資産の減損 : 約25億円を特別損失に計上

北米2生産拠点体制で効率化

# FY09計画:業績

## 対前年差



上段:2009年 3月期  
下段:2010年 3月期計画

# FY09計画:所在地別の状況

(単位:億円)

	売上高			為替 換算 影響	営業利益			為替 換算 影響
	FY08	FY09	差		FY08	FY09	差	
日本	944	780	△ 164		△ 51	15	+ 66	
北米	547	342	△ 205	△ 28	△ 24	2	+ 26	△ 0
欧州	57	37	△ 20	△ 5	1	1	+ 0	△ 0
タイ	24	22	△ 2	△ 4	△ 1	△ 3	△ 2	+ 1
中国	19	27	+ 8	△ 4	△ 2	1	+ 3	△ 0
インドネシア	108	83	△ 25	△ 19	12	9	△ 3	△ 2
消去	△ 103	△ 71	32		2		△ 2	
Total	1,596	1,220	△ 376	△ 61	△ 63	25	+ 88	△ 2

現地通貨ベース	FY08	FY09	差	FY08	FY09	差
北米:\$ mil.	531	360	△ 171	△ 23	2	+ 25
欧州: Euro mil.	40	30	△ 10	1	1	+ 0
タイ: THB mil.	770	846	+ 76	△ 32	△ 115	△ 83
中国: RMB mil.	128	208	+ 80	△ 11	8	+ 19
ネシア: IDR bil.	1,009	954	△ 55	112	103	△ 9

<為替レート>

	FY08	FY09		FY08	FY09		
\$	102.8	95.0	-8%	THB	3.1	2.6	-17%
Euro	143.3	125.0	-13%	RMB	14.8	13.0	-12%
				IDR	0.0107	0.0087	-19%

# FY09計画:営業利益増減益分析(対前年差)

◆ 営業利益:25億円(対前年差+88億円)

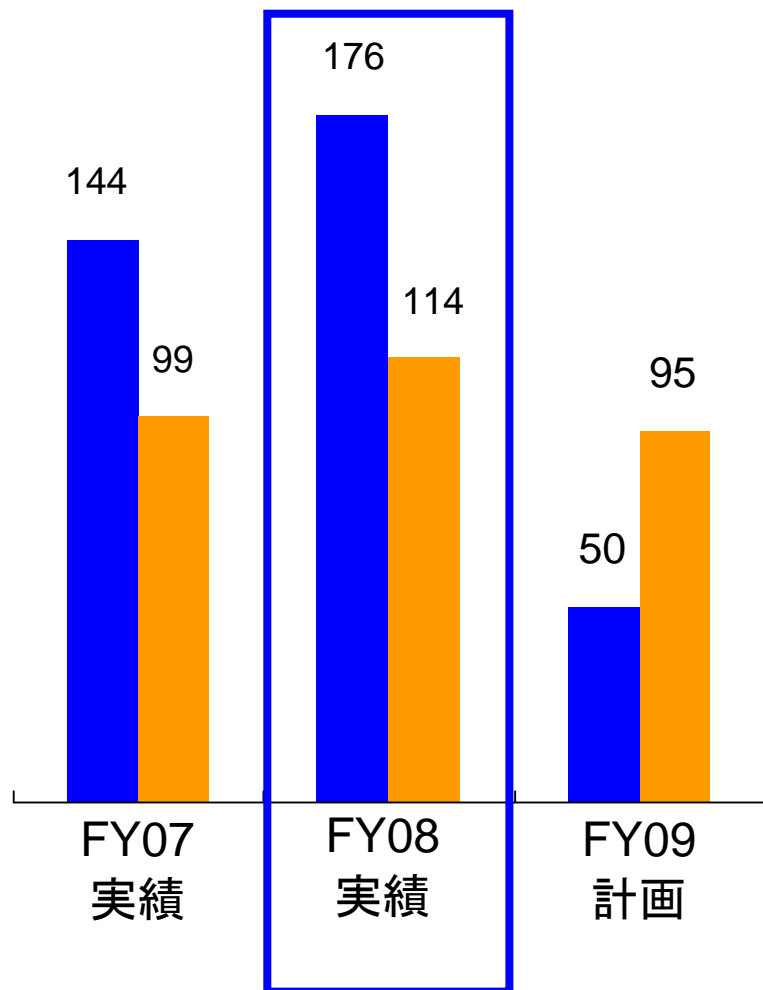
単位:億円

営業利益(FY08)		△63	
・受注変動	△123		(日本△70、北米△51、アジア△2)
・人件費	+103		(日本+64、北米+38、アジア+1)
・コスト革命	+17		(日本+15、北米+2)
・経費節減	+41		(日本+31、北米+10)
・市況変化	(日本+9、北米+16、アジア+1)	+26	
・お客様還元		△5	(日本△5)
・鋳物事業	(日本+4)	+4	
・為替差	(日本+3、アジア△1)	+2	
・償却費	(日本+12、北米+6)	+18	
・その他	(日本+3、北米+5、アジア△1、他△2)	+5	
営業利益(FY09)	+88 (△63億円→+25億円)	25	

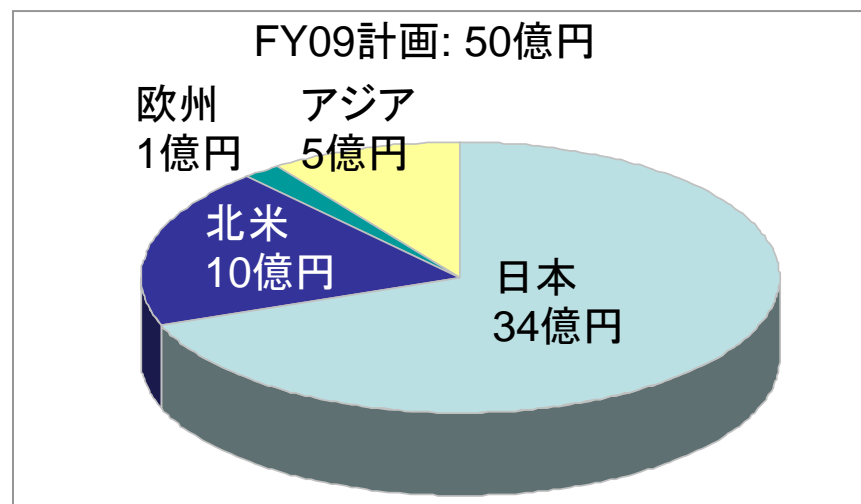
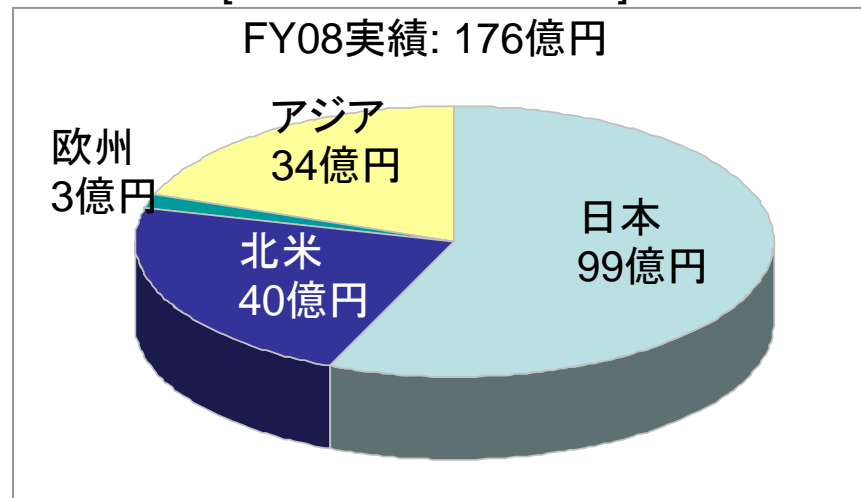
# FY09計画:設備投資及び償却費

■ 設備投資  
■ 減価償却

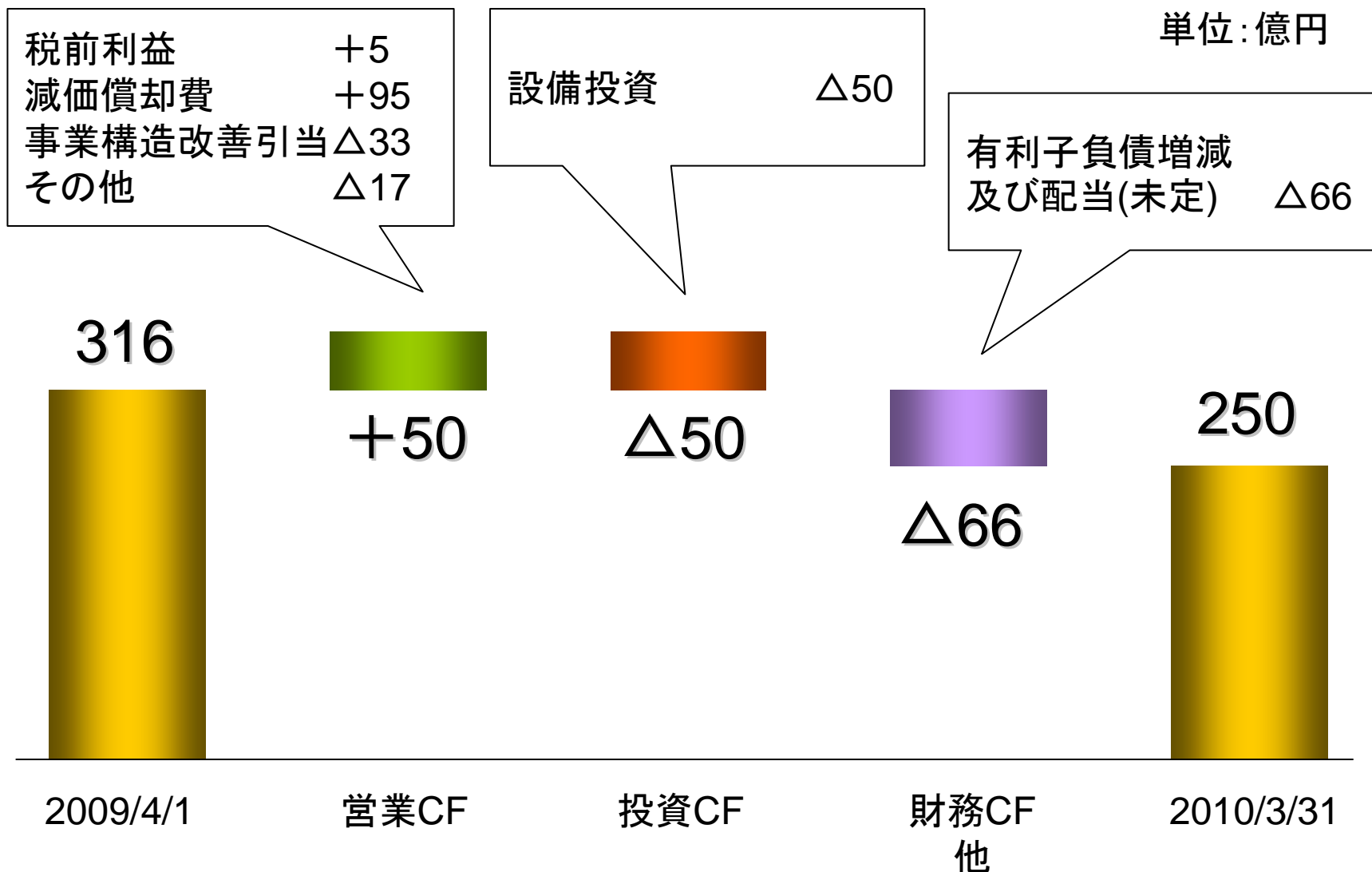
(単位:億円)



[ 地域別 設備投資 ]

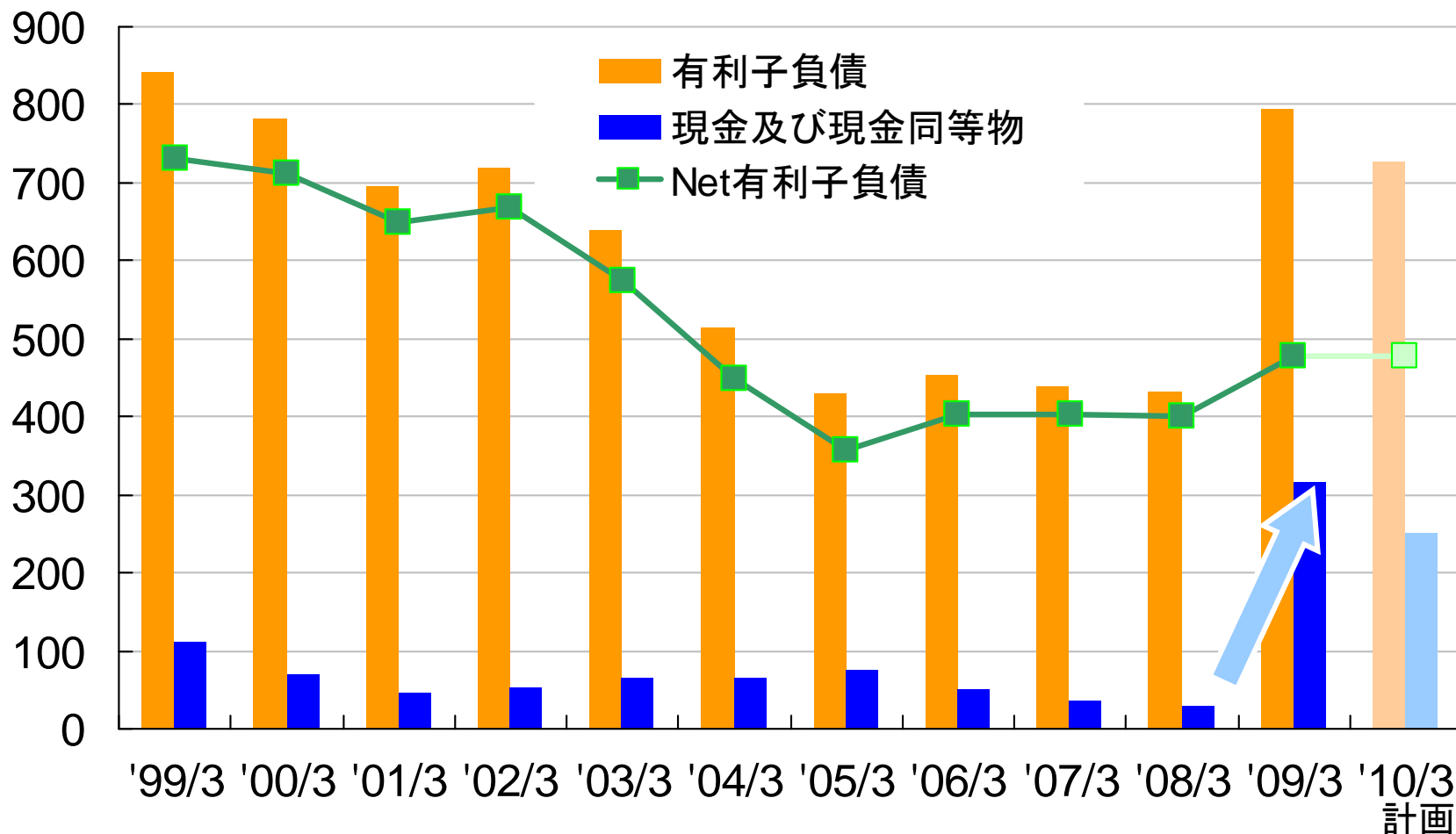


# FY09計画: キャッシュ・フロー

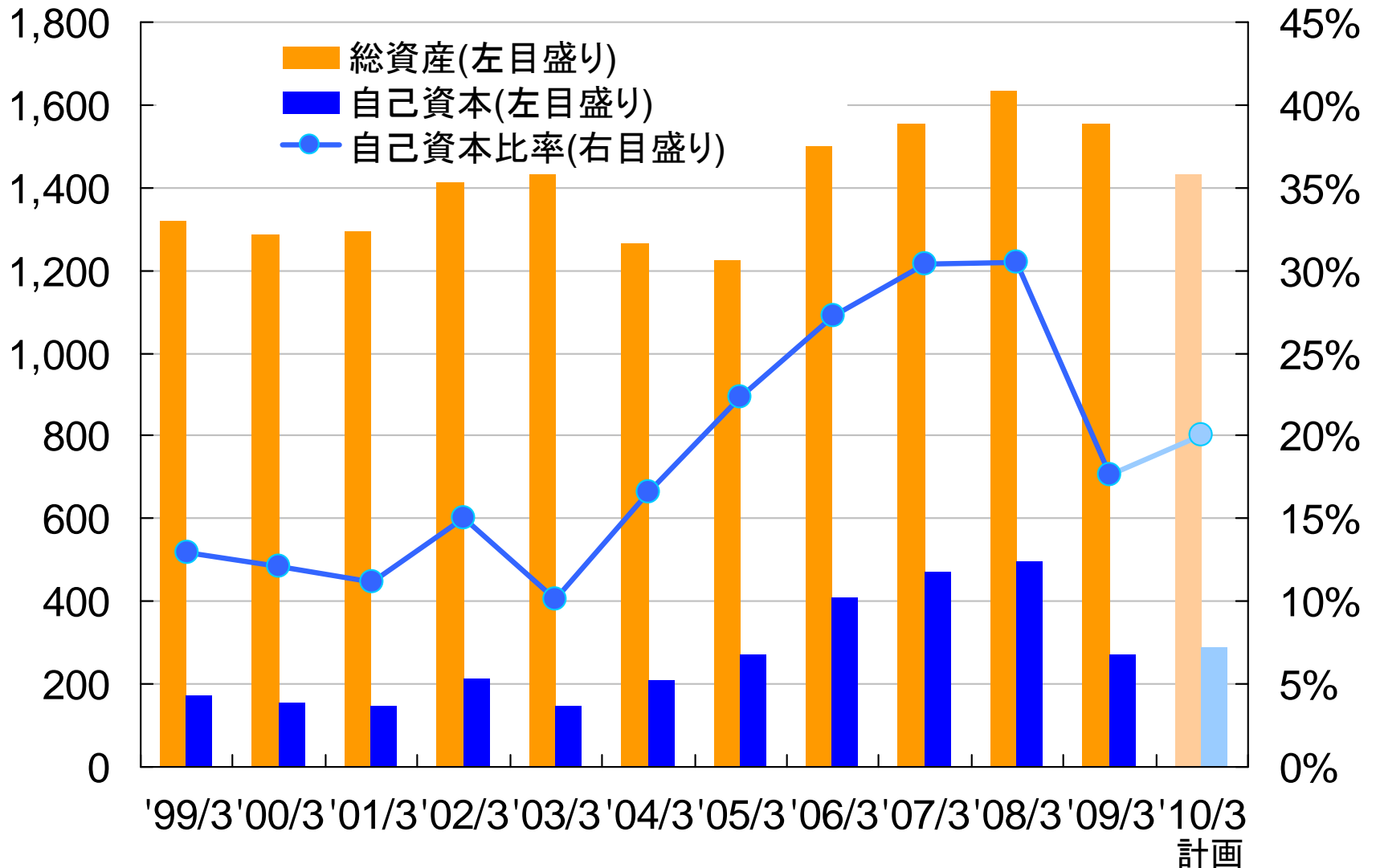


# 有利子負債推移 (1999年3月～)

- 現状の金融環境を鑑み、不測の事態に備えるために、手元流動性を高めるための資金調達を政策的に実施



# 自己資本比率推移 (1999年3月～)



---

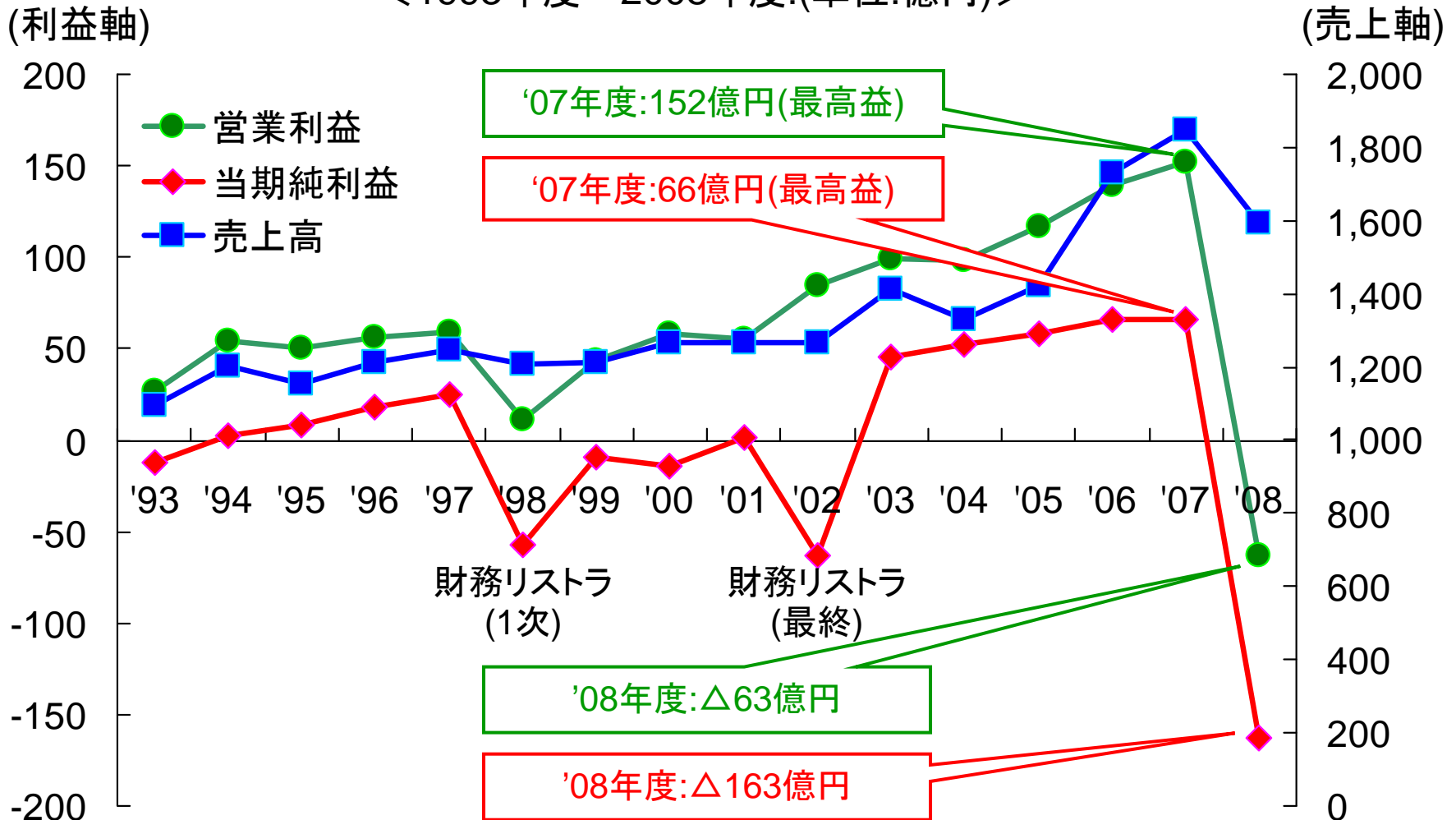
本資料における、計画は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化によっては、実際の業績が変動することがございます。

---

## 添付資料

# 【連結】売上高・営業利益・当期純利益推移

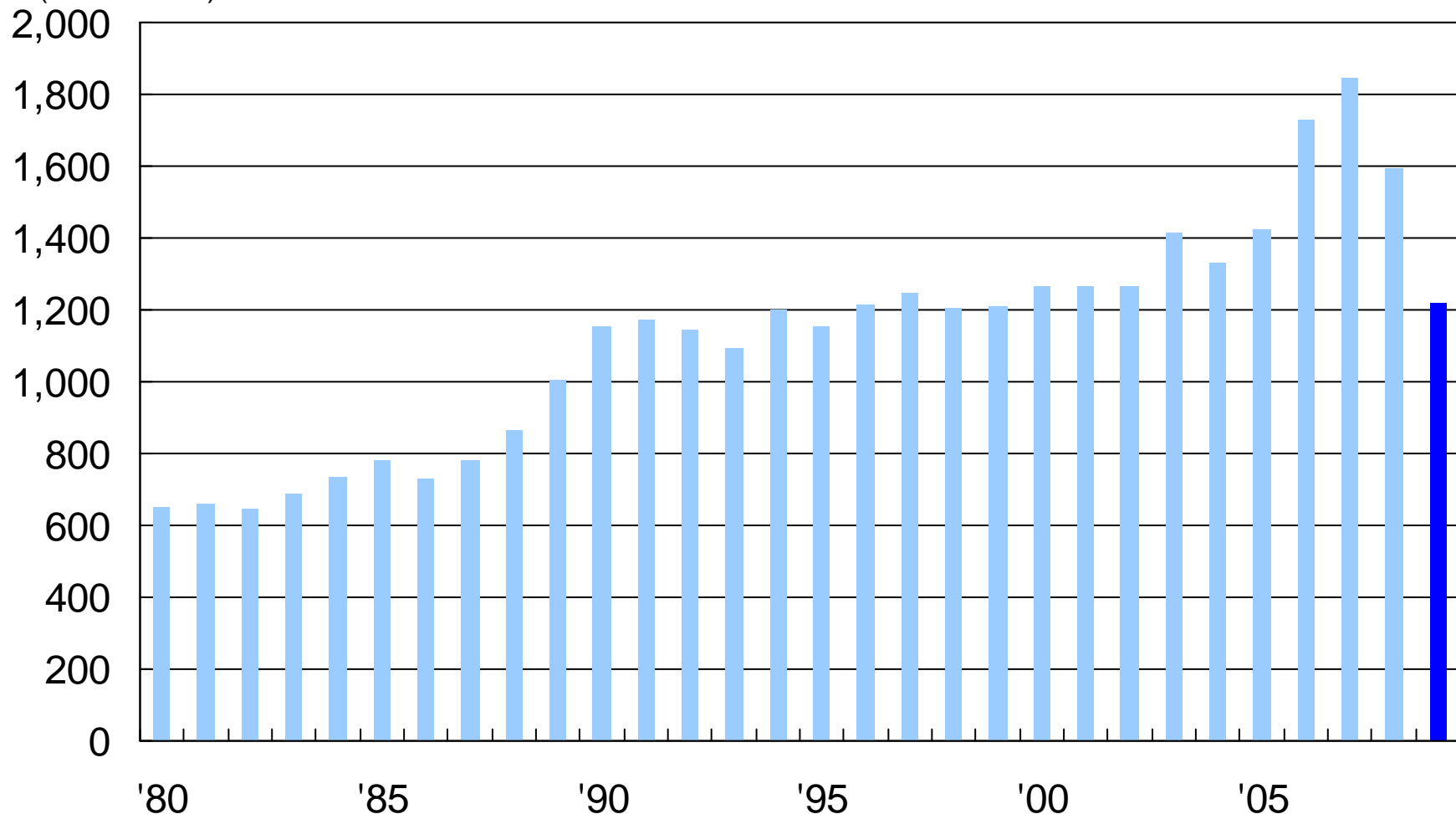
<1993年度－2008年度:(単位:億円)>



# 【連結】年度別売上高推移 (1980年度～)

## ＜曙ブレーキ連結売上高推移＞

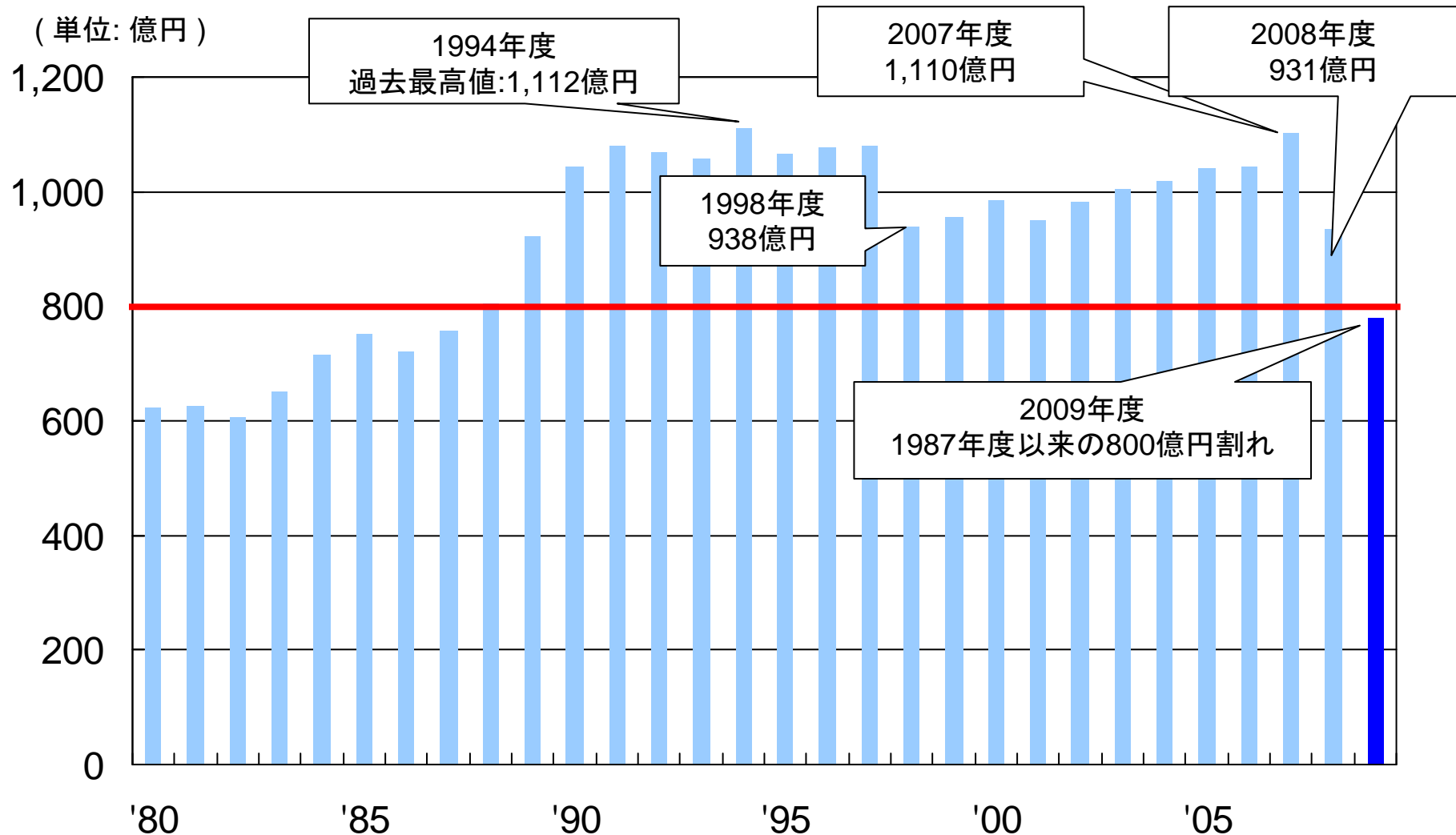
(単位: 億円)



# 【国内】年度別売上高推移 (1980年度～)

## ＜曙ブレーキ単体売上高推移＞

(単位: 億円)



# 連結売上高 [お客様区分別/製品別]

単位:億円

[お客様区分別]	08年3月期	09年3月期
OE	1,304	1,139
補修	368	328
産業機械	73	62
鉄道車両	45	40
その他	57	27
Total	1,847	1,596

[製品別]	08年3月期	09年3月期
ディスクブレーキ	665	532
ドラムブレーキ	348	348
ディスクブレーキパッド	486	409
その他自動車部品	181	180
産機鉄道	117	102
センサー	45	22
その他	5	3
Total	1,847	1,596